

聖霊降臨節第十一主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏（黙祷）
「神の使者、その名ヨハネ」
（讃美歌 21 の 193 番）A.デ・クラーク作曲
あいさつ
讃 美 讃美歌 21/183 番
開会の祈り
交 読 詩 篇 詩編 149 篇 4～9 節
【第一部 み言葉の礼拝】
聖 書
＋フィリピ 2 章 6～11 節
＋ヨハネによる福音書 13 章 12～17 節
（新約 P.363、新約 P.194）
応 答 唱 讃美歌 21/46 番
教 話 井上隆晶牧師
『自分を無にして』

使徒信条

【第二部 聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/72 番
教会の祈り（連祷）
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/507 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
派遣の言葉
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏（黙祷）
「後奏曲へ長調」
M.G.フィッシャー作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 屋宮英男
奏 楽 鹿野幸枝
献金当番 山千代誠子
受付当番 澤田真弓

【本日の予定】

◇教会学校（朝 9 時 30 分）
・お話し：井上隆晶牧師
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈禱会（礼拝後）

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈禱会
・8 月 4 日（火）午前 9 時
・8 月 5 日（水）午前 9 時
・8 月 7 日（金）午前 9 時
◇英会話グループ
・お休みします。

【次週主日 8 月 9 日のご案内】

◇教会学校礼拝（午前 9 時 30 分）
・お話し：小坪英恵
◇主日朝礼拝（午前 10 時 30 分）
・聖 書
＋フィリピ 1：21～24
＋マタイ 6：19～24
・教 話 井上隆晶牧師
『死ぬことは利益』
・讃美歌 21 385、112、575
・交読詩篇 詩編 150：1～6
・司式補佐 井上万里子
・奏 楽 飯田雅子
・献金当番 小渕公子
・受付当番 澤田昌人
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈禱会（礼拝後）

聖 句

「キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは
思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられました。」

（エペソ 2 章 6～7 節）

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》：3 日（月）午前 9 時 30 分「大宮保育園お誕生日会」、午後 1 時「職員礼拝」、7 日（金）「シャロン千里コンサート」
②《8 月の教会行事予定》
■8 月 9 日（日）午前 10 時 30 分「永眠者記念礼拝」：ご家庭から記憶したい、永眠されたご家族の遺影（キャビネット）をご持参ください。礼拝後「伝道委員会」
■8 月 23 日（日）井上牧師は泉北ニュータウン教会へ説教奉仕。都島教会の説教奉仕は戸根真理恵牧師。
③夏期特別献金を献げましょう。献金目標は 15 万円です。
④本日礼拝後に寺田律子さんの送別会を兼ねた「納涼会」をいたします。会費は無料です。奮ってご参加ください。
⑤イランにいるアブスプール・レザさんとノアちゃんは、田舎の避暑地に避難して無事だそうです。ノアちゃんは 4 歳になりピアノとダンスと日本語を学んでいます。臼井さんがあずさんをお訪ねし、情報を得て下さいました。ご家族の安全のためにお祈りください。
⑥【先週の集会統計】

日	集 会	男子	女子	大人	計	礼拝献金
26	CS 礼拝	—	1	3	4	¥750
	集 会	男	女	子ども	計	礼拝献金
26	朝の礼拝	9	14	2	25	¥17,330
28	朝の祈り	3	4	—	7	
29	朝の祈り	3	4	—	7	
31	朝の祈り	3	3	—	6	

- ⑦【7/26 の献金報告】
〔各種感謝〕臼井久美子、中村恵子（計 6,200 円）
〔夏期特別〕臼井久美子、山千代誠子（計 10,000 円）



【週報表紙の続き】

㊦◎小さなキリスト

以前私が通っていた教会で、こんな出会いがありました。仕事がうまくいかなくなって辞めた時に、教会員の知人ということで教会に来始めた方がいました。仕事を辞めた頃から、うつ状態だったのかと思います。食生活もいい加減で、お風呂に入るのもトイレに行くのも面倒で、なかなかできないという様子でした。お風呂に入らないからやはり匂いもあります。服も汚れています。ある時からその方は平日も教会の前に立って、道ゆく人に教会おいでよ、バザーおいでよ、クリスマスおいでよと誰彼かまわず声をかけ始めたのです。それを見た私ははじめ、そんなことしたら「変な人に声かけられた、近寄らないようにしよう」「教会って怖いな」って思われてしまうかもしれない、と考えました。しかし、「教会においでよ」と声をかけることは初歩中の初歩、伝道の第一歩でもあります。そんな姿を見て、ある時「あ、イエスさまがここにいるんだな」と思ったのです。この方こそ、私が出会った小さなキリストでした。イエスさまは実はものすごく近くにいたんだ、ということに気づかせてくれた出会いでした。

この人も私も神様に愛された尊い人間なのだ、と。私には愛せないかもしれない、でも神様がすでに愛している。そう思った時、心が楽になったのです。そして、自分の力では何もできない、自分は人を愛することすらできない弱い無力な存在だと知った時、自分が小さい存在なのだと知った時、あの時、弟子たちの前でイエスさまに抱き上げられた子どもは実は自分自身だったのだと気づくのです。唯一の大きい人、イエス・キリストの見る景色を共に見るものとされるのです。人と人との間で、あの人には大きい、自分は小さいと見比べるのではなく、ただ神様の前に立ち、計り知ることのできない大きな愛をくださる神さまの前で、自分の小ささを見つめる者でありたいと思います。（文責：井上隆晶）